

記念オケ疑惑解明は 第三者組織に任せよ

とくしま記念オーケストラ事業について、第三者機関を設けて調査するよう求める請願の紹介議員となり、本会議で採択を求めて討論をしました。

「県や与党議員は、『もうこれ以上の議論は必要ない』というが、『脱税した知事の知人女性が事業に関わったのは知事の意向ではないのか』『事業費が巨額に膨らんだのは、この女性の働きかけの結果ではないのか』という、県民の疑念は、解消していない」と指摘しました。

請願は不採択にされましたが、記念オケのような問題を再発させないため、**政策・意思形成過程の記録・公開を徹底する等、県政の透明化を要求していきます。**

「ひきこもり」の方は 徳島県に1万人？

自宅にひきこもる15歳以上64歳以下の人たちは、国の推計で115万人超。委員会で県の推計値を尋ねたところ、県内に約6400人という答えでした。

これに対し私は、「ひきこもる方々を訪問して支援する事業に取り組む自治体が、県下に三好市しかない」と指摘し、**全県への事業展開と訪問調査の実施を求めました。**

実態把握が不十分なので、ひきこもる方々は県下に1万人程いるかも？
県政上も大きな課題です。



無所属
扶川敦
県議会議員
議会報告

2019 夏秋号

皆様のご支援で、今春県議会に復帰できました。
一人会派「護民官」で議会棟二階に控室があります。